

子ども達の豊か  
な成長・発達の  
ために皆で力を  
尽くしましょう！

# パワーアップ連続講座 今年度もスタート！ 「学ぶことが楽しい」

## 「体育」

四月二十八日(土)、一中体育館で、安武一雄先生をお迎えして、「みんなが分かる・できる・伝える器械運動」の講座を開きました。基本から発展までの「マット運動・とび箱」の講座です。自分のからだのうごきが、楽しみながらわかっていく。「ねこちゃん体操」や、「ダイナミックな「横跳び越し」、舞台とサーフティマットを使った前転などを、実技をとおして学びました。

四月二十八日(土)、一中体育館で、安武一雄先生をお迎えして、「みんなが分かる・できる・伝える器械運動」の講座を開きました。基本から発展までの「マット運動・とび箱」の講座です。自分のからだのうごきが、楽しみながらわかっていく。「ねこちゃん体操」や、「ダイナミックな「横跳び越し」、舞台とサーフティマットを使った前転などを、実技をとおして学びました。

### \*\*\*感想より\*\*\*

☆実技つきでわかりやすい講座でした。特に体育は指導しにくい教科でしたので、助かりました。(マット・とび箱は他の内容に比べ、胃が痛くなるほど前日に必死で本やCDで学んではみたものの、実際は??の授業しかできないので悩んでいました。)毎回勉強になりました。実践できています。☆ねこちゃん体操が、いろいろな運動、動きの基礎になっているのがわかって参考になった。段階的に動きを加えていくことで、うまくできる方法を教えていただけてよかったです。



## 「国語・文学」

五月十二日(土)、三野

和生先生をお迎えして、『お手紙』の教材を中心に、教材研究の基本から学びました。模擬授業では、生徒の気持ちになつて本当に楽しく学べ、この気持ちをクラスの子どもたちと共有したいなあ、と感じた講座でした。

### \*\*\*感想より\*\*\*

『どう発問したら良いのか、何をベースにして考えていったら良いのか』が全くわからなかったのですが、今回の講座で知ることができ、さっそく実践してみたいと思うことができました。『国語の文学の授業は、人間を言語から学んでいくものと教えていただいていた、とてもあたたかい気持ちになりました。国語の教材研究は大好きですが、授業にするとうまく子ども達に気づかせてあげられなかったりして反省しています。もっと研究して、子ども達がたくさん発見できるように授業をしていきます』

# 橋下大阪市長の大阪府役所労働組合攻撃

## 極めて異常!

橋下大阪市長は5月23日、連合加盟の大阪府労働連に対し「新たな労使間ルール(案)」と「大阪府労使関係に関する条例案」を示しました。

今後、全労連加盟の市労組連や市労組にも同様の対応が行われ、7月議会に提案される見込みです。しかし、その内容は次のように極めて異常な、市当局が労働組合の活動範囲を制限して支配介入することを条例化するという、およそ憲法上も労働組合法上も考えられない内容となっています。

●管理運営事項についての労働組合との交渉・意見交換を禁止する。  
●職員の勤務条件の維持改善という目的に合致しているか確認するため、(組合に)収支報告書の提出を求める。

●合致しない場合は職員団体の登録を抹消できる。  
●便宜供与は健全な労使関係が確保されるまで行わない。  
●組合無給職免・組合の会議室使用などの廃止。

この暴挙は、大阪市や公務職場にとどまらず、民間や府下、そして他府県にも大きな悪影響を及ぼしかねない重大問題であり、断じて許すわけにはいきません。

橋下大阪市長による労働組合と公務員に対する攻撃は、一般市民と公務員を徹底して敵対・分断して公務員の労働条件を限りなく切り下げの中で、一般市民向けの施策もぼつさり削り、梅田から関空までのリニア鉄道など関西財界が狙う大規模な公

共事業に湯水のように税金を使えるようにする事にあります。かつてドイツでナチスが台頭した時、反ナチスの行動で知られるマルティン・ニーメラー牧師は次の詩を書いていました。「ナチ党が共産主義を攻撃したとき、私は自分が多少不安だったが共産主義者ではなかったから何もしなかった。ナチ党は社会主義者を攻撃した。私は前よりも不安だったが社会主義者ではなかったから何もしなかった。ついで学校が、新聞が、ユダヤ人等々が攻撃された。私は不安だったが、まだ何もしなかった。ナチ党はついに教会を攻撃した。私は牧師だったから行動した。しかし、それは遅すぎた。」「独裁政治ノー」の声を広げましょう。

### 橋下市長が提案した「くらしも地域も大阪市も壊す『市政改革プラン』あらゆる世代のサービス切り捨ての一部を紹介します。

事業名	削減額	実施年度	事業名	削減額	実施年度
<b>敬老バス事業(5案)の改悪</b>		2013年度	コミュニティ系バス(赤バス)補助削減	10億7300万円	2013年度
(1)JR・私鉄に拡大、50%負担、上限2万円。	50億円		大阪フィルハーモニー協会、文楽協会補助金削減	4000万円	2012年度
(2)市営交通限定、50%負担、上限なし。	48億円		大阪市音楽団の廃止	5200万円	2013年度
(3)市営交通限定、年1千円~2万円負担、上限なし。	14億円		男女共同参画センター(クレオ)廃止	4億5600万円	2014年度
(4)市営交通限定、年3千円~5千円徴収、上限なし。	50億円		市民交流センター廃止	10億3300万円	2014年度
(5)市営交通限定、30%負担、上限なし。	42億円				
<b>上下水道料金福祉措置の廃止</b>	39億6600万円	2013年度	屋内プール統廃合(24→9カ所)	12億2300万円	2014年度
<b>新婚世帯向け家賃補助新規募集停止(10年度終了)</b>	21億7100万円	2012年度	スポーツセンター統廃合(24→9カ所)	4億7400万円	2014年度
<b>国民健康保険料の値上げ</b>	10億6700万円	2013年度			
一般会計からの任意繰入の削減による保険料値上げ、市独自の3割軽減廃止、出産一時金の引き下げ。					
<b>保育料の軽減措置の改悪</b>	1億5000万円	2013年度			
前年度分の市民税非課税世帯からも保育料を徴収する。保育料を全体として1億5千万円程度引き上げ。					
<b>老人憩いの家運営費助成削減</b>	5500万円	2013年度			

今回の素案のもとになった「試案」には、学童保育補助金の全廃が掲げられていました。関係者を中心にして短期間に13万筆以上の署名を提出。素案では廃止が撤回されました。